

人は誰しも病気や障害を抱えながらも、自分の家で自分らしく生きたいと願っていると考えます。そんな患者さんの思いに寄り添った看護がしたいと思い、病院勤務を経て訪問看護師になりました。

訪問看護師として関わる中で、これまで介護サービスを強く拒否されていた方がサービスを受け入れるようになったり、寝たきりの患者さんが自分でトイレに

やりがいある訪問看護師

行けるようになったりと、私の実践した看護で良い結果となって返ってきたときです。住み慣れた家で人生



洛和会訪問看護ステーション東山
訪問看護師
林 しのぶさん

は、大きなやりがいを感じます。また、訪問看護師として仕事の深さを感じるのしか体験することができな

いう枠を超えて人生観・死生観というものを考え、人として、自分の人生をどう生きていくべきか」を日々学ばせてもらっています。

訪問看護は1人で訪問し、的確な判断が必要なため、責任が重い仕事です。しかし、ここに書ききれないほどのやりがいがあります。今後の仕事でもあります。今後も訪問看護師の魅力を発信し、一緒に働く仲間をつくらせていきたいと思っています。